

地域連携等による依存症早期発見・早期対応・継続支援モデル事業

泉州スマイルSBIRTS (SS-SBIRTS)

令和 5 年度 都道府県等依存症専門医療機関/相談員等合同全国会議
令和6年2月9日 ベルサール八重洲

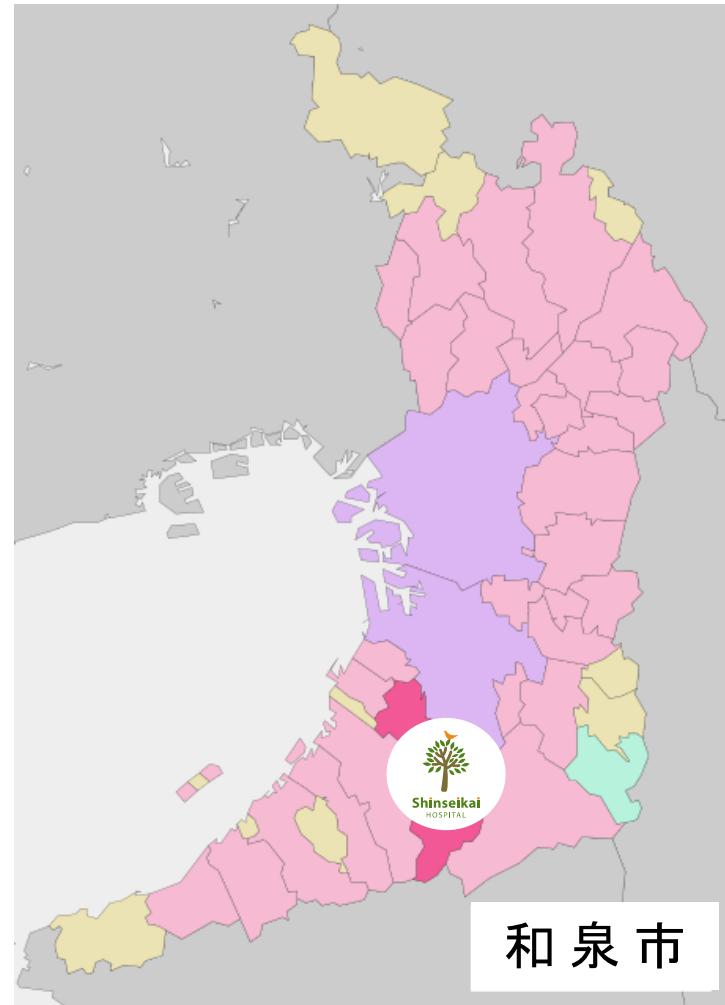
新生会病院 和気浩三

新生会病院

アルコール依存症専門医療機関

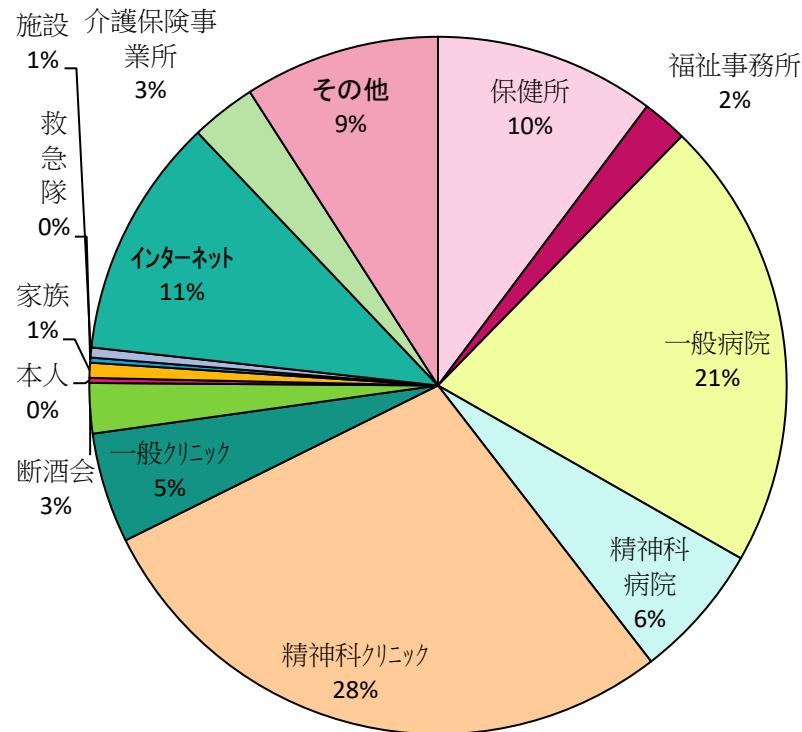
- 148床(女性ユニット14床・保護室7床)
- 精神科医: 7名(非常勤3名)
- 内科医: 非常勤4名
- 急性期治療病棟1: 102床
- 精神科病棟15対1入院基本料: 46床
- 精神保健福祉士: 7名
- 作業療法士: 4名
- 臨床心理士: 1名

- デイケア: 定員45名
- グループホーム: 定員6名
- 訪問看護ステーション・「ポプラ」
- 就労支援B型作業所・「あんず工房」



和泉市

初回受診・入院者の紹介経路（2020年度）



紹介経路	件数	昨年比
保健所	44	0
福祉事務所	9	+3
一般病院	90	+4
精神科病院	27	+4
精神科クリニック	121	+32
一般科クリニック	22	+10
断酒会	10	+5
本人	1	0
家族	3	-1
救急隊	1	0
施設	2	-8
インターネット	48	-5
介護保険事業所	13	+2
その他	39	+15
合計	430	+61

泉州二次医療圏

人口：884,635人

身体科・精神科医療機関

公立病院：7

公的病院：2

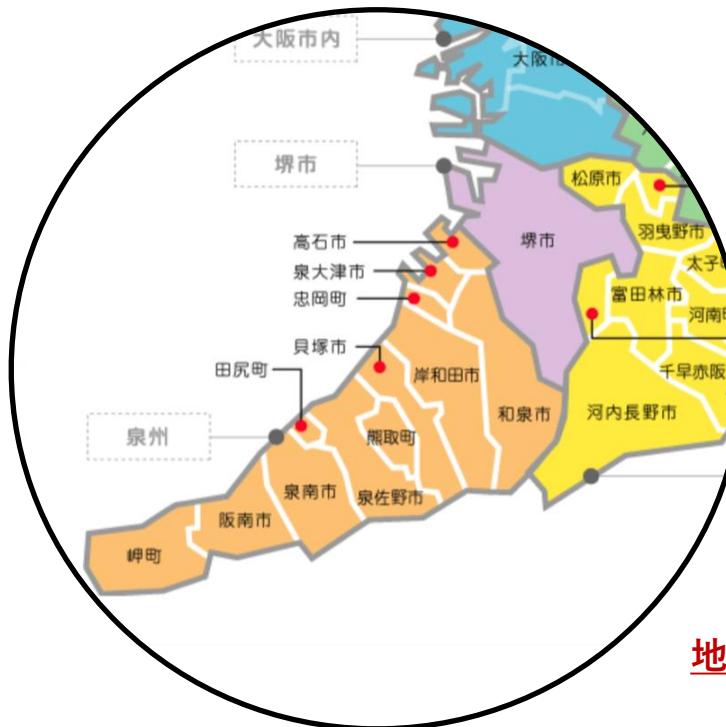
民間等病院：52

精神科病院：17

身体科診療所：637

精神科診療所：63

アルコール依存症：3800人
疑い（AUDIT15点↑）：約2万人



アルコール依存症専門医療機関

専門病院 4力所

専門診療所 1力所

地域自助グループ

和泉断酒会

高石断酒会

泉大津断酒会

岸和田断酒会

貝塚断酒会

泉佐野断酒会

阪南断酒会

地域相談機関

和泉保健所

岸和田保健所

泉佐野保健所

大阪府アルコール健康障がい対策推進計画（平成29年度策定・令和3年度見直し）概要版

位置付け

アルコール健康障害対策基本法(平成25年法律第109号)第14条第1項の「都道府県アルコール健康障害対策推進計画」として策定

計画の対象期間

平成29（2017）年度から7年間（2023年度まで）

取組みの方向性

- 1.治療と回復及び相談体制の強化
- 2.発生・進行・再発の各段階に応じたアルコール健康障がい対策の実施

主な取組み

【アルコール専門医療機関・相談機関の明確化】

- ・治療拠点機関と相談拠点機関の情報提供
- ・アルコール依存症の専門的治療を行う医療機関の情報提供

【関係機関の連携体制の強化と支援体制の整備】

- ・医療・保健・福祉・教育・自助グループ等の連携体制（SBIRT※を含む）の構築の推進
- ※ Screening, Brief Intervention, Referral to Treatment and Self-help groups
- ・研修や事例検討会による支援スキルの向上

【身体科・精神科医療機関とアルコール専門医療機関の連携強化】

- ・アルコール使用障がいスクリーニング、ブリーフインターベンションの普及
- ・連携による早期発見・早期治療

【発生予防・再発予防の充実】

- ・飲酒に伴うリスク、不適切な飲酒等についての啓発の推進
- ・20歳未満の者等の不適切な飲酒に対しての指導・取締りの実施
- ・回復支援を行う自助グループや関連団体への支援
- ・地域生活支援充実のための施策の推進

目標数値

※下線部は令和3年度での見直し箇所
注：1～3は国の「アルコール健康障害対策推進基本計画」の目標年度・数値

1.20歳未満の飲酒者をなくす

学年	性別	平成26年	平成29年
中学 3年	男性	7.2%	3.8%
	女性	5.2%	2.7%
高校 3年	男性	13.7%	10.7%
	女性	10.9%	8.1%

令和5年（2023年）	目標値
	0%

1日平均純アルコールで
男性 40g（日本酒換算で2合）以上
女性 20g（日本酒換算で1合）以上

2.生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者を減らす

	性別	平成27年※1	平成29年※2
府	男性	17.7%	14.1%
	女性	11.0%	13.7%
国	男性	13.9%	14.7%
	女性	8.1%	8.6%

令和5年（2023年）	目標値
男性	13.0%
女性	6.4%

令和5年度（2023年度）	目標値
	0%

3.妊娠中の飲酒をなくす

平成25年度(2013年度) 平成29年度(2017年度)

4.3% → 1.2%

4.身体科・精神科医療機関とアルコール専門医療機関の連携を強化する

平成28年度(2016年度) 令和3年度(2021年度)

研修受講者 0人 → 研修受講者 763人

令和5年度(2023年度) 目標値

研修受講者 1,000人

推進体制

◇アルコール健康障がい対策連絡会議（府内会議）

政策企画部、府民文化部、福祉部、商工労働部、環境農林水産部、都市整備部、教育庁、大阪府警察、健康医療部（地域保健課が事務局）が参画

◇アルコール健康障がい対策部会（関係者会議）

主な取組み

【アルコール専門医療機関・相談機関の明確化】

- ・治療拠点機関と相談拠点機関の情報提供
- ・アルコール依存症の専門的治療を行う医療機関の情報提供

【関係機関の連携体制の強化と支援体制の整備】

- ・医療・保健・福祉・教育・自助グループ等の連携体制 (SBIRTS※を含む) の構築の推進

※ Screening,Brief Intervention,Referral to Treatment and Self-help groups

- ・研修や事例検討会による支援スキルの向上

【身体科・精神科医療機関とアルコール専門医療機関の連携強化】

- ・アルコール使用障がいスクリーニング、ブリーフインターベンションの普及
- ・連携による早期発見・早期治療

【発生予防・再発予防の充実】

- ・飲酒に伴うリスク、不適切な飲酒等についての啓発の推進
- ・20歳未満の者等の不適切な飲酒に対する指導・取締りの実施
- ・回復支援を行う自助グループや関連団体への支援
- ・地域生活支援充実のための施策の推進

泉州スマイルSBIRTS 事業概要

(目的) 泉州二次医療圏で新生会病院・保健所・断酒会が協力して地域連携体制（SBIRTS）の構築を推進する

SBIRTS

医療機関等へのSBIの普及（特に診療所）

新生会病院

- ・簡易介入ツールを作成・広く配布する
- ・簡易介入の研修を行う

SBIRTS

保健所の相談機能を周知する

和泉保健所
岸和田保健所
泉佐野保健所

- ・地域の相談機関として知られていない？
- ・こころの健康相談の具体的な内容を周知

SBIRTS

専門医療機関以外でもSBIRTSを

大阪府断酒会

- ・保健所等で支援員として自助グループ参加を支援

X

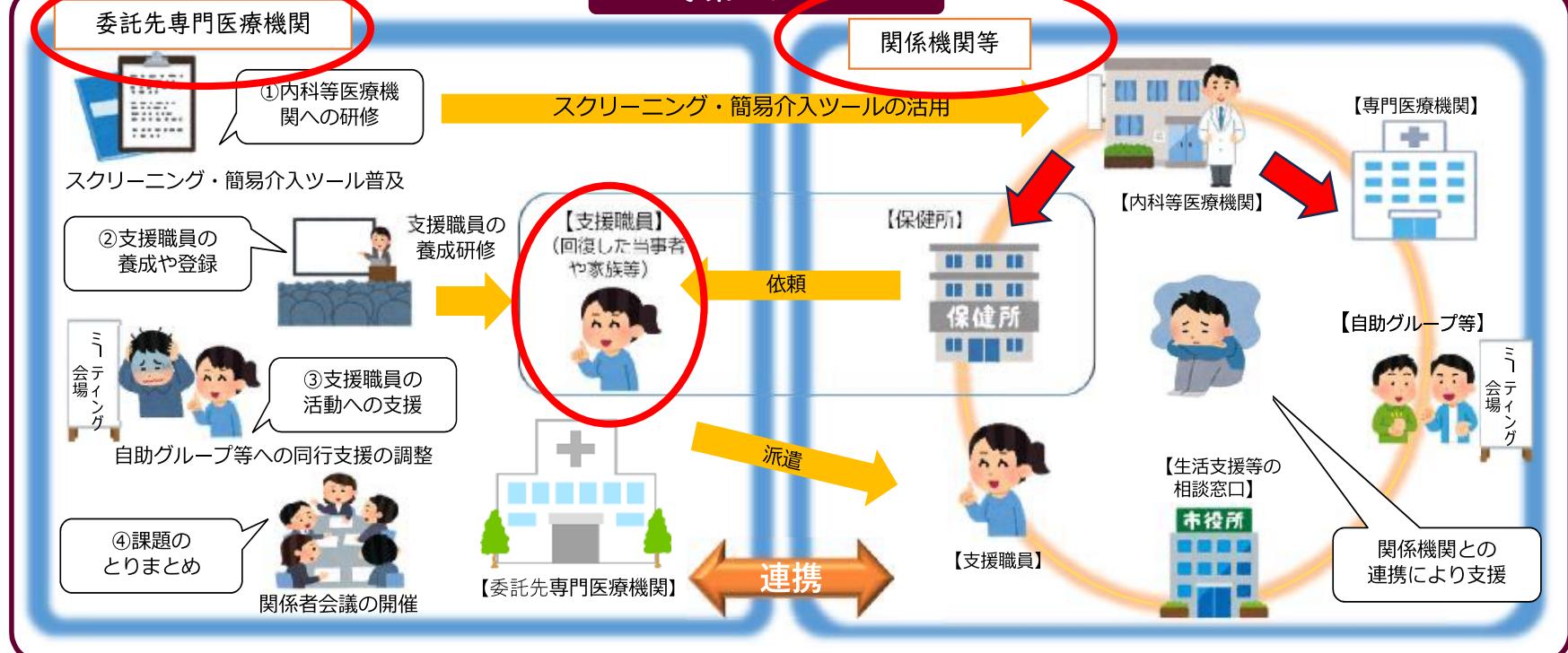
4回の研修会
(オンライン)

地域連携等による依存症早期発見・早期対応モデル事業

事業の内容

- 大阪府作成の簡易介入ツール等を委託専門医療機関を通じて内科等医療機関に提供し、依存症やその可能性のある対象者をスクリーニングする。
- 委託先専門医療機関において回復した当事者や家族等を対象に研修会を実施し、研修受講者は、支援職員として活動可能な日時等を登録する。
- 支援職員は、支援を希望する対象者と、内科等医療機関、市町村や保健所などの相談窓口、専門医療機関等と自助グループをつなぐ支援を行う。
- 委託先専門医療機関と保健所は、必要に応じて支援職員の相談に応じる。
- 委託先専門医療機関において、当事業に関わる関係者を集めた検討会議を開催し、本事業の課題検討を行う。

事業のイメージ



期待される効果

- 支援職員の活動や、自助グループ、保健所、専門医療機関等の関わりを通じて相談・治療・回復の切れ目ない支援体制の構築を推進することができる。
- 内科等の医療機関や、依存症の専門ではない精神科医療機関の依存症への関わりを深めるとともに、SBIRTSの実践を図ることができる。

アルコール問題のある人への簡易介入ツール

大阪府版：簡易介入マニュアル

大阪府 アルコール問題のある人への簡易介入マニュアル

～S B I R T S～

2021.12月作成

このマニュアルは、SBIRTSにそって、記載しています。

S B I R T Sとは、簡単なスクリーニングにより、「危険な飲酒」や「アルコール依存症」を判定し、適切な指導のもとに、必要な場合には専門治療に連絡するものです。早期発見・早期治療によりアルコールによる心身への影響だけでなく、家庭生活や仕事をへの影響などの予防や解決を目的にします。

Screening	スクリーニング	「飲酒度」を尋ねかける
Brief Intervention	簡易介入	「危険な飲酒」患者には即座に勧める 「危険」「依存症」患者には断酒を勧める
Referral to Treatment	専門治療への紹介	専門治療が必要な患者には「紹介」を行なう
Self-help group	自発グループへの紹介	医療機関などのスタッフが自発グループへ紹介する

◆アルコール問題問題

アルコール問題問題とは、アルコール依存症だけでなく、多量飲酒や身体的・社会的な問題などを抱むアルコールを原因とする様々な問題の総称です。アルコールを原因としていること、身体的にも社会的にも様々な問題が発生します。

世界保健機関（WHO）によると、アルコールは 60 以上の病気やケガの原因になるとされています。また、社会的では二日酔いは仕事に支障が出る、人間関係が悪化する、飲酒過剰をして事故を起こしてしまうなどが挙げられます。アルコール依存症は、アルコール問題問題の中でも深刻な問題です。

◆アルコールによる身体への影響

アルコールは、肝障害、肺炎、高血圧症、高脂質血症、高血圧症、高血圧症、高血圧症など、さまざまな病気を引き起こします。

◆アルコールによる脳への影響

アルコールは、脳（白質）の萎縮を引き起こします。脳血管と脳の萎縮の程度はどの程度にあると言われています。

健常者

【脳MRI写真】

大量飲酒者

◆脳出血
◆脳梗塞
◆アルコール性脳症候群
◆認知症
◆高血圧
◆心筋梗塞
◆心臓病
◆アルコール性心臓症
◆高脂血症
◆心筋梗塞
◆心臓病
◆アルコール性肝炎
◆肝臓炎
◆肺炎
◆心臓病
◆アルコール性肺炎
◆高血圧
◆心臓病
◆アルコール性高血圧症
◆高血圧
◆心臓病

大阪府

関西アルコール関連問題学会小冊子 を元に作成

あなたの
飲酒

SS-SBIRTS
泉州スマイルSBIRTS
大丈夫ですか？

～意外と知らないお酒の事～

新生会病院

厚生労働省モデル事業

「地域連携等による依存症早期発見・早期対応・個別支援モデル事業(大阪府委託事業)」

はじめに

平成26年6月に「アルコール健康障害対策基本法」が施行されました。酒は百薬の長と言われる反面、飲み過ぎると肝臓病だけでなく、いろいろな病気を引き起します。例えばメタボリックシンドロームの元となる高血圧や高脂血症とも密接な関連があるのです。しかし、その事に気付かず酒で体を壊すばかりか、アルコール依存症にまで陥っている人も決して少なくありません。最新の調査では全国で約100万人のアルコール依存症者が、約1,000万人もの多量飲酒者がいると推計されています。この小冊子は、あなたの飲み方をチェックし、適切な飲酒（断酒が必要な事もあります）になるようにお手伝いすることを目的に作られています。ぜひあなたの健康づくりにご活用下さい。

～目 次～

はじめに	1
普段の飲酒量はどれくらい?	2
お酒の適量はどれくらい?	3
お酒が引き起こす問題	4
結果判定	7
お酒を減らす目標と開始日を決めましょう	8
お酒を減らす作戦	9
飲酒日記について	10
一ヶ月後の振り返り	11
飲酒日記	13
巻末資料	37
専門医療機関リスト	43

1

普段の飲酒量はどれくらい?

まず始めに、あなたの普段の飲酒量が日本酒換算で何合くらいになるか調べてみましょう



日本酒1合 約20gの純アルコール

日本酒1合と同程度のお酒の量

	清酒 1合・180ml	ビール 500ml	ウイスキー 60ml	25%の焼酎 100ml	ワイン 200ml	7%のチューハイ 350ml
種別						
アルコール濃度	15%	5%	43%	23%	12%	7%
純アルコール量	22g	20g	21g	20g	19g	20g

あなたの普段の一日の飲酒量は

日本酒換算 約 合

もし、厳密にアルコール量を知りたい場合は以下の方法で計算することができます。

お酒に含まれるアルコール量の計算方法

$$\text{お酒の量(ml)} \times (\text{アルコール濃度(%)} \div 100) \times 0.8 = \text{純アルコール量(g)}$$

日本酒1合

$$180 \times 0.15 \times 0.8 = 21.6g$$

ビール
ロング缶

$$500 \times 0.05 \times 0.8 = 20g$$

あなたの普段の一日の飲酒量は 純アルコール g

2 お酒の適量はどれくらい？

①で調べたあなたの普段の飲酒量はどうだったでしょうか？

ただし、アルコール依存症の方、妊娠中、授乳中の方、未成年、アルコールが悪影響を及ぼす病気をお持ちの方は禁酒が必要です。

1合 	1日当たり1合程度の飲酒は健康日本21で「節度ある適度な飲酒」と定義され、危険の少ない飲酒と考えて良いでしょう。 ～節度ある適度な飲酒～ 1日 平均純アルコール約20g (女性や65歳以上の高齢者は10g)
2合 	1日あたり2合以上の飲酒は生活習慣病のリスクを高めるため、減酒が必要です。 ～生活習慣病のリスクを高める飲酒量～ 1日あたり純アルコール40g以上 (女性や65歳以上の高齢者は20g以上)
3合 	3合以上は危険な多量飲酒となります。 事故やさまざまな社会問題を引き起こしアルコール依存症にもつながります。 ～多量飲酒～ 1日 平均純アルコール60g以上

(健康日本21より)

3 お酒が引き起こす問題

心当たりはありませんか？

お酒の飲み過ぎは、食道がん、大腸がん、乳がんなどのがん、消化器疾患、循環器疾患、アルコール依存症やうつ病、脳の萎縮など、ほぼ全身に悪影響を及ぼします。また同時に、家族関係や職業生活にも深刻な問題を招くことがあります。(詳しくはP37～P44をご覧下さい。)



4

お酒の飲み方チェック

AUDITというお酒の飲み方スクリーニングテストを使ってチェックしてみましょう。結果判定は次のページにあります。

	質問	0	1	2	3	4	回答
1	どれくらいの頻度でアルコール飲料をのみますか？	全く飲まない	月1回以下	月2～4回	週2～3回	週4回以上	
2	飲酒する時は通常どれくらいの量をのみますか？ (純アルコールとして)	日本酒換 1合以下	日本酒換算 2合程度	日本酒換算 3合程度	日本酒換算 4合程度	日本酒換算 5合以上	
3	1度に3合以上飲酒することがどのくらいの頻度でありますか？	ない	1ヶ月に 1度未満	1ヶ月に1度	1週間に1度	毎日、あるいは ほとんど毎日	
4	過去1年間に、飲み始めると止められなかった事がどれくらいの頻度でありましたか？	ない	1ヶ月に 1度未満	1ヶ月に1度	1週間に1度	毎日、あるいは ほとんど毎日	
5	過去1年間に、普通だと行える事を飲酒してするためにできなかったことが、どれくらいの頻度でありましたか？	ない	1ヶ月に 1度未満	1ヶ月に1度	1週間に1度	毎日、あるいは ほとんど毎日	
6	過去1年間に、深酒の後体調を整えるために、朝迎え酒をしなければならなかったことが、どれくらいの頻度でありましたか？	ない	1ヶ月に 1度未満	1ヶ月に1度	1週間に1度	毎日、あるいは ほとんど毎日	
7	過去1年間に、飲酒後罪悪感や自責の念にかられたことが、どれくらいの頻度でありましたか？	ない	1ヶ月に 1度未満	1ヶ月に1度	1週間に1度	毎日、あるいは ほとんど毎日	
8	過去1年間に、飲酒のために前夜の出来事を思い出せなかったことが、どのくらいの頻度でありましたか？	ない	1ヶ月に 1度未満	1ヶ月に1度	1週間に1度	毎日、あるいは ほとんど毎日	
9	あなたの飲酒のために、あなた自身か他の誰かがけがをしたことがありますか？	ない		あるが、過去 1年間はなし		過去1年間 にあり	
10	肉親や親友、友人、医師、あるいは他の健康管理にたずさわる人が、あなたの飲酒について心配したり、酒量を減らすように勧めたりしたことがありますか？	ない		あるが、過去 1年間はなし		過去1年間 にあり	

AUDIT (Alcohol Use Disorders Identification Test)

質問1～10の回答の
数字を合計する

合計 点

5 結果判定

AUDIT点数	判 定	
0～7点	危険の少ない飲酒	今後も現在の飲酒量を保つようにして下さい。
8～14点	危険な飲酒	このままでは将来、健康や社会生活に悪影響が出てきます。 ⑥⑦⑧⑨に進んで飲酒量を減らす事に挑戦してみましょう。
15点以上	アルコール依存症疑い <small>(詳しくはP38～42をご覧下さい)</small>	アルコール依存症が疑われます。早めに専門医療機関へ相談して下さい。 (医療機関リスト・19ページ)

6 お酒を減らす目標と開始日を決めましょう

～現 在～

1日の酒量	
休肝日	1週間に 日
3合以上	1ヶ月に 日

～目 標～

節酒の目標は、「②お酒の適量はどれくらい？」を参考に考えるとよいでしょう。ただし、無理な目標設定はせず、十分に達成可能な目標から始める事をお勧めします。

*本数やグラム換算など自由に設定

1日の酒量	日本酒換算で 合まで
休肝日	1週間に 日

～開始日～

年 月 日

7

お酒を減らす作戦

では、実際にこれからお酒を減らすために役立ちそうな方法にチェックしておきましょう。

節酒の基本	<input type="checkbox"/> 飲酒日記をつける <input type="checkbox"/> 「節酒宣言」する <input type="checkbox"/> 飲酒の前に食事をする <input type="checkbox"/> 次の一杯までを遅らせる <input type="checkbox"/> 今まで飲酒していた時間帯を、他の過ごし方にする <input type="checkbox"/> 低濃度のお酒、ノンアルコールビール、ウーロン茶などに変える	<input type="checkbox"/> 定期的に受診、検査する <input type="checkbox"/> 休肝日を増やす <input type="checkbox"/> ゆっくり飲むようにする <input type="checkbox"/> 量から飲まない
自宅での節酒法	<input type="checkbox"/> 自宅に酒類を「買い置き」しない <input type="checkbox"/> 飲酒以外の活動で時間を過ごす <input type="checkbox"/> 買い物は、酒を売っている店を避ける <input type="checkbox"/> 家族の協力を得る	
外出時に行う節酒法	<input type="checkbox"/> 飲む（飲み過ぎてしまう）場所を避ける <input type="checkbox"/> 飲まない友達と外出する <input type="checkbox"/> 酒席は断るか、早く引き上げる <input type="checkbox"/> 返杯、歓杯をしない <input type="checkbox"/> 酒席での挨拶回りは、ウーロン茶でまわる <input type="checkbox"/> 飲んでいる間は、会話、カラオケ、ダーツ等、他の楽しみ方をする <input type="checkbox"/> 勧められても「ノー」と言える練習をしておく	<input type="checkbox"/> 必要以上のお金を持ち歩かない <input type="checkbox"/> 飲んだ量を計算する

その他にあなたが思いついた方法があれば書き出して下さい

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

8

飲酒日記について

飲酒日記は、お酒を減らすことに大変役立つと言われています。飲酒量を具体的に記入し、休肝日には○、目標の飲酒量が守れたら○、守れなかった日には×をつけて下さい。また、うまくいった時や、逆にうまくいかなかった時の状況を記録しておくと今後の役に立つでしょう。下記の記入例を参考に、日記を付けてみましょう。

ポイント!

日記を付けてから一ヶ月前後の時点で振り返りのセッションをすることが成功の秘訣です。一ヶ月の結果を振り返り、目標を修正する事もできます。必ず医療機関や相談先で見直しをして下さい。次回の予約をしておきましょう。

次の予約は 年 月 日

(目標 1日 2合まで 休肝日 2日/週)

日付	飲酒量	状況	結果
2/16(月)	ビール 500ml 1本 ビール 350ml 1本	家で晩酌	○
2/17(火)	○	今日は休肝日	◎
2/18(水)	ビール 500ml 1本	家で晩酌	○
2/19(木)	ビール 500ml 日本酒 2合	友人と飲み会	✗
2/20(金)	○	今日は休肝日	◎
2/21(土)	ビール 500ml 3本	休日前で飲みすぎ	✗
2/22(日)	キューハイ 350ml 1本	風呂上がりに1本	○

9**1ヶ月後の振り返り**

予定日 年 月 日

目標の達成度はいかがでしたか？

自己採点すれば100点満点で
何点でしょうか？

 点

この一ヶ月の目標が達成出来た方は、適正飲酒を目指してさら
にがんばりましょう！ 目標達成が出来なかった方も諦めずに作
戦を練り直しましょう。目標の修正についても考えてみて下さい。

節酒に役に立った方法は？

「⑦お酒を減らす作戦」で選んだ項目で
役に立った方法はどれでしたか？

- _____
- _____
- _____

失敗しやすかった状況は？

失敗しやすかった状況を分析して、対策を考えましょう

1. _____

対策 _____

2. _____

対策 _____

～目 標～

一ヶ月を振り返った結果、目標を再確認しましょう。
目標を修正する事も可能です。

1日の酒量	合まで
休肝日	1週間に 日

目標1日 まで 休肝日 日/週

日付	飲酒量	状況	結果
/ (月)			
/ (火)			
/ (水)			
/ (木)			
/ (金)			
/ (土)			
/ (日)			

日付	飲酒量	状況	結果
/ (月)			
/ (火)			
/ (水)			
/ (木)			
/ (金)			
/ (土)			
/ (日)			

目標1日 まで 休肝日 日/週

日付	飲酒量	状況	結果
/ (月)			
/ (火)			
/ (水)			
/ (木)			
/ (金)			
/ (土)			
/ (日)			

日付	飲酒量	状況	結果
/ (月)			
/ (火)			
/ (水)			
/ (木)			
/ (金)			
/ (土)			
/ (日)			

お酒の飲み方が気になる方へ

ぜひ保健所へご連絡ください

- ・内科の医師から飲酒量を減らすように勧められている方
- ・ご自身の飲酒量などについて心配されている方
- ・家族や友人、知人の飲酒量などについて心配されている方
- ・職場の健康診断などで肝機能等の数値が高い方

etc

和泉保健所 電話 0725-41-1330

(和泉市・高石市・泉大津市・忠岡町
在住の方)

岸和田保健所 電話 072-422-6070

(岸和田市・貝塚市 在住の方)

泉佐野保健所 電話 072-462-4600

(泉佐野市・泉南市・阪南市・熊取町・
田尻町・岬町 在住の方)

相談機関

保健所や精神保健福祉センターなどで、本人や家族などの相談にのっています。

自助グループ

同じ問題を抱えた人と自発的につながり、その結びつきのなかで問題の解決に取り組む方々の集まりです。

専門医療機関

アルコール依存症の専門医療機関では、専門のプログラムなどを行っています。

回復施設

アルコール依存症に関する相談を受けたり、日中活動や居場所の提供、ミーティング等を行ったりするリハビリ施設です。

保健所あて連絡欄

病院
担当者

SS-SBIRTS
泉州スマイル SBIRTS

お酒の飲み方が気になる方へ

相談窓口につながるために

〒594-1154

大阪府和泉市松尾寺町 113

TEL: 075-53-1222 (代)

医療法人和気会

Shinseikai
HOSPITAL

新生会病院

「地域連携等による依存症早期発見・早期対応・継続支援モデル業」

*この事業は新生会病院が大阪府から委託を受けて行っています

事業の内容

ご自身や周りの方のお酒の飲み方が気になる方に、支援員（アルコール依存症の回復者・家族）が地域の保健所の精神保健福祉担当者と連携し、継続的な相談や自助グループへ同行するなどの支援を行います。

相談の流れ

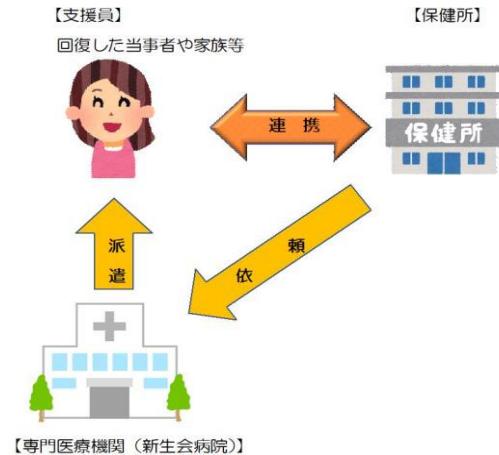
①かかりつけの内科等の先生から、お酒の飲み方などについての相談を保健所へしてみることを勧められます。



②お住いの地域の保健所に連絡を取り、精神保健福祉担当者と相談をします。



③ご相談の内容によって、支援員と一緒に継続した支援を進めたほうがよい場合に、保健所から支援員を紹介します。



④支援の過程で、あなたに保健所の精神保健福祉担当者と支援員が寄り添います。



Q&A

支援員はどんな人たちですか？

☞ 自助グループにつながり、アルコール依存症からの回復に取り組んでいる本人と家族さんです。

支援員に相談したいときはどうしたらいいですか？

☞ 保健所の精神保健福祉担当者にご相談ください。

費用はどのくらいかかりますか？

☞ 相談費用は無料です。ただし、自助グループに参加する際の交通費は実費負担となります。また医療機関を利用する場合は、医療費、や交通費などの実費がかかることがあります。

家族も相談できますか？

☞ 相談できます。本事業による支援について、書面で同意をいただいた本人や家族が対象となります。

支援員への研修

2022.3

地域連携等による依存症早期発見・早期対応・継続支援モデル事業

SS-SBIRTS

(スマイル泉州エスバーツ:トリプルエスバーツ)

支援職員養成研修会

～研修内容～

- ・事業の内容説明
- ・支援員の役割（自助グループ導入の支援）
- ・想定される問題への対応方法
- ・その他

アルコール依存症 本人（計5名）

50代 男性 岸和田市断酒会
60代 男性 高石市断酒会
60代 男性 堺市泉北断酒会
80代 男性 貝塚市断酒会
50代 女性 岸和田市断酒会

アルコール依存症 家族（計2名）

60代 女性 貝塚市断酒会
60代 女性 泉佐野市断酒会

「第4回 アルコール問題のある人への簡易介入研修」

～アルコール問題への早期介入・支援の輪を地域で広げよう～

厚労省モデル事業「地域連携等による依存症早期発見・早期対応・継続支援モデル事業」

泉州スマイル・SBI RTS(大阪府委託事業)

Screening アルコール問題をふるいわけ

Brief Intervention 短時間での簡易介入(減酒支援)

Referral to Treatment 専門医療機関へ紹介

Self-help group 自助グループにつなぐ

日 時: 2023年11月30日(木) 18:00～19:00

開催方法: Web講習会(Zoomウェビナー)

内 容: 1.「アルコール問題のある人への簡易介入、
泉州スマイル・SBI RTS事業・介入ツールの説明」
和氣浩三(新生会病院 院長)

2.「保健所でのアルコール相談の実際」
実操綾子(大阪府和泉保健所 精神保健福祉相談員)

3.「体験談・支援員紹介」
峰 由美(貝塚市断酒会 家族会)

対象者: 医師・看護師・ソーシャルワーカー・保健師 等

お申込み: 下記URLまたはQRコードよりお申し込みください

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_LXnllC2GSPiWVRN0tUD5Ag



参加費: 無料

本研修会は大阪府医師会生涯研修制度認定研修です

アルコール依存症は、治療が困難な一方、適切な治療や支援を受け、断酒が継続されること回復(従来の日常生活を送ること等)が可能な精神疾患です。他方、依存症の特徴として、本人は病気か進行しても自己に気づかず、自ら専門治療に結びつきにくい状況にあります。アルコール依存症の生涯経験者数は推計で50万人台～100万人台であるのに対し、アルコール依存症の受診者数は約10万人(外来)、約2万人(入院)と乖離があるなど、多くの方が支援を必要としつつ、適切な支援につながっていない問題(治療ギャップ)が指摘されています。本事業では、この治療ギャップを改善するために、泉州2次医療圏で一般医療機関と専門医療機関、保健所等の関係機関、自助グループ等とのより良い連携づくりを目指しています。

この事業は新生会病院が大阪府から委託を受けて行っています

お問い合わせ先 医療法人和氣会 新生会病院 医療福祉相談室

TEL 0725-53-1222(代表) FAX 0725-53-1224(相談室直通)

e-mail shinseikai-soudanshitsu@mbr.nifty.com

オンライン研修・計4回実施

① 令和4年3月24日

② 令和5年3月23日

③ 令和5年7月26日

④ 令和5年11月30日

対象者: 医師・コメディカル・その他

案内方法: 医師会郵便物にチラシ

医師会生涯研修ポイント申請

当院ホームページ

泉州地域一般病院・消化器内科医

OACメーリングリスト

参人数: 148名(1回目研修除く)

*研修直後・1ヶ月後にアンケート

*医師会郵便物で簡易介入ツール配布×3回

*介入ツール追加注文の受付

泉州スマイル・SBIRTS

治療ギャップが大きいと言われているアルコール健康障害と依存症を有する患者・家族を早期に治療と支援に繋げること

- ① 軽症アルコール依存症と予備軍に対して身体科での簡易介入(減酒支援)を普及させる

時間・スキルの問題

簡易介入ツールの紹介

- ② アルコール依存症患者を専門医療機関に受診させる

説得が難しい

保健所機能の紹介

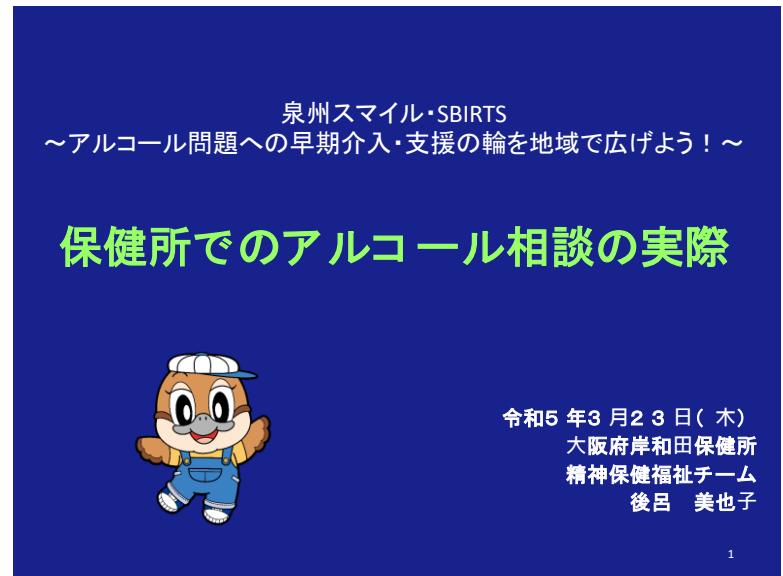
- ③ アルコール依存症患者と家族を自助グループに繋ぐ

自助グループ？？

支援員（回復者）の紹介

保健所の相談機能(こころの健康相談)

- 来所相談 電話相談 訪問相談（自宅・病院・その他）
- 本人・家族・支援者
- 精神科嘱託医（アルコール専門医含む）
- 診断・見立て
- 医療機関紹介
- 自助グループ紹介
- 家族支援
- その他



断酒会の紹介



1



4

断酒会の根幹は「日々の断酒例会」です。「断酒例会」は「体験談に始まり 体験談に終わる」と言われるよう に、体験談のみが語られます。
「断酒例会」以外にも毎週のように各地域で「研修会」「記念大会」「セミナー」等が開催され、多くの仲間が 集います。



3

断酒会の例会は、
こんな感じです。
本当は、口の字でやるのですが、
コロナの感染予防ということで、
皆が前を向いています。



断酒会とは、何をするの？

断酒会では「断酒例会」を開いて、自分自身の体験談を語ります。断酒例会では「皆が平等」という原則で、誰かが「教える」ということはありません。ただ皆が、自分の過去を振り返り、お酒を飲んでいた頃を振り返り、その時の自分の気持ち、迷惑をかけた人への反省、お酒をやめることに至った経緯、今の正直な気持ちなどを語ります。

どうして断酒会でお酒が、やめれるの？

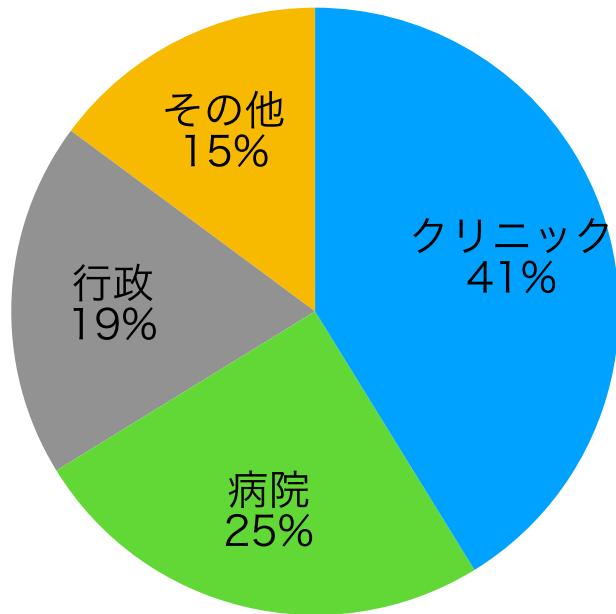
長い間、酒とともに暮らしてきて、もはや酒無しでは過ごせなくなった我々のような人が「酒をやめる」と固く決意してもなかなか辞められません。断酒会は、断酒という共通の目的を持った人たちが、お互いに支えあい励ましあって、酒の魔力に対して一致団結して集団の力で身を守ろうとする団体なのです。合言葉は「**断酒は仲間と共に**」です。長年の多量飲酒で、社会から孤立して生きてきて、もう一度、酒をやめて人間らしい生き方を取り戻します。過去の体験を忘れないように体験談として語り、また仲間の体験談を聞くことにより、もう酒は飲まない、と日々、仲間と誓い合います。

キーワード：「一日断酒」「仲間」「家族の回復」

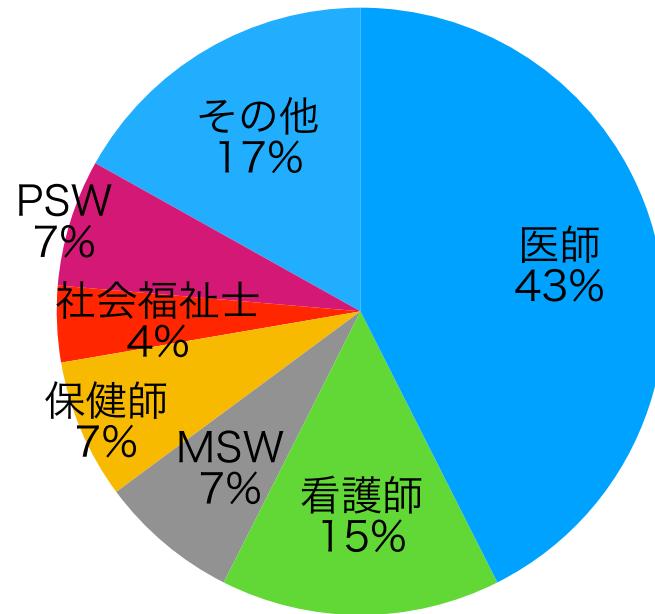
6

2～3回研修会・参加者内訳 (N=148)

所属機関

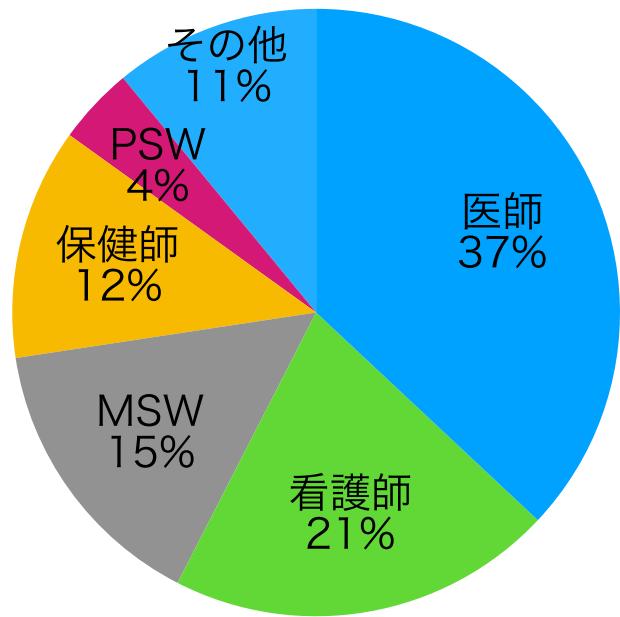


職種

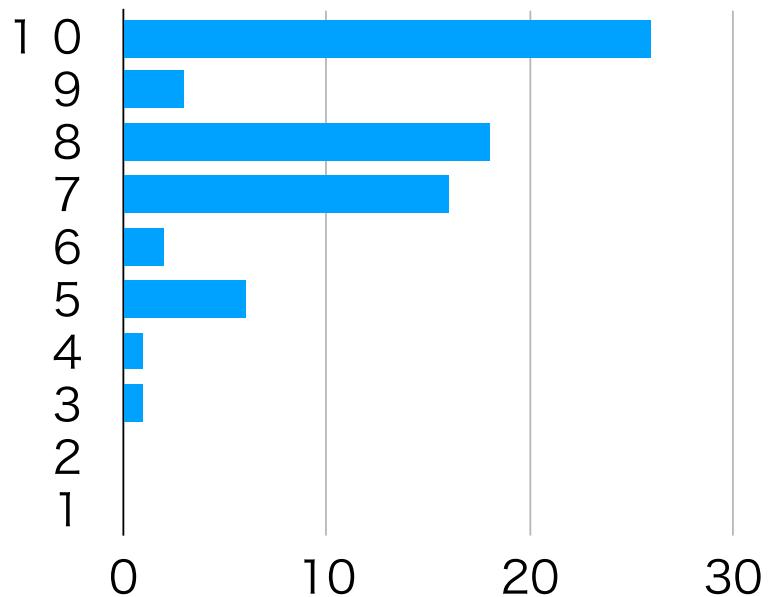


事後アンケート (N=73)

職 種

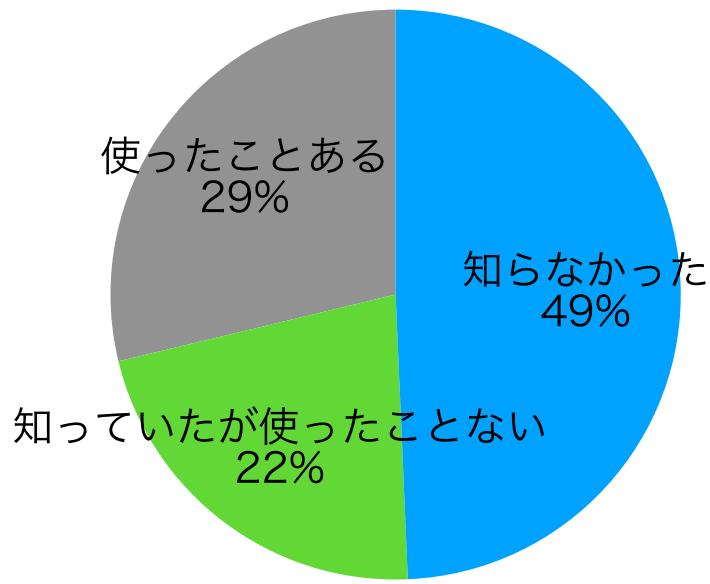


研修会は役に立ったか？

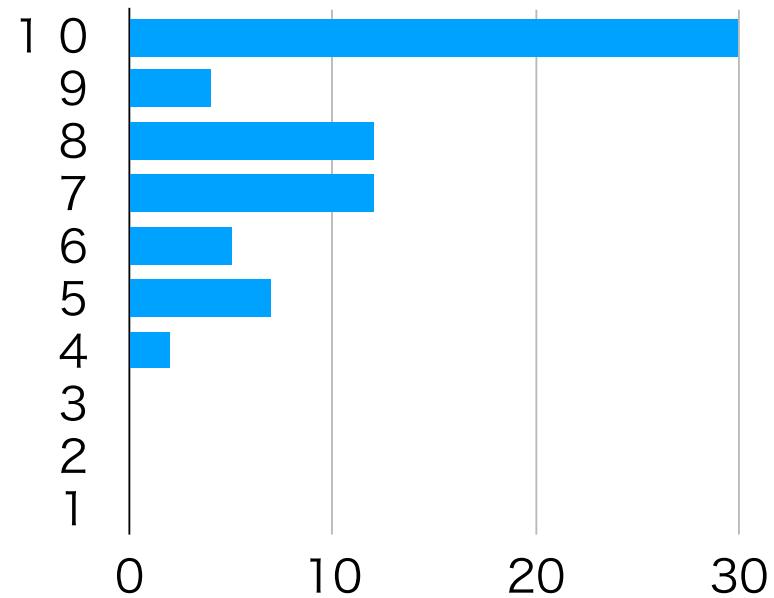


事後アンケート (N=73)

AUDIT使用経験

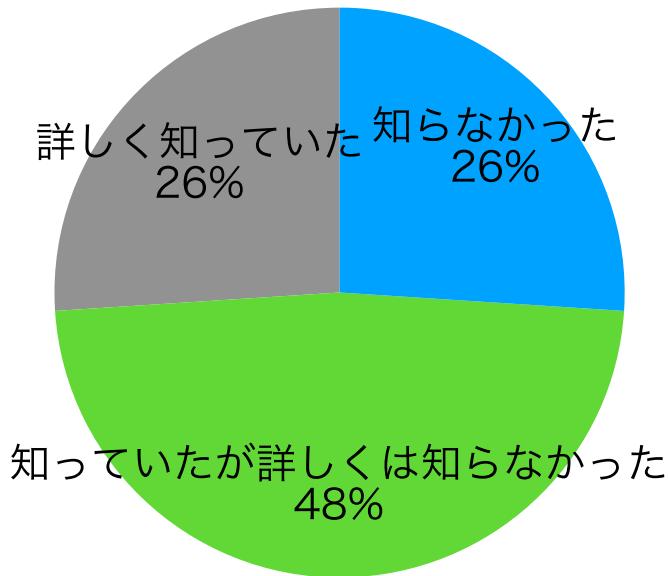


介入ツール使ってみたい？

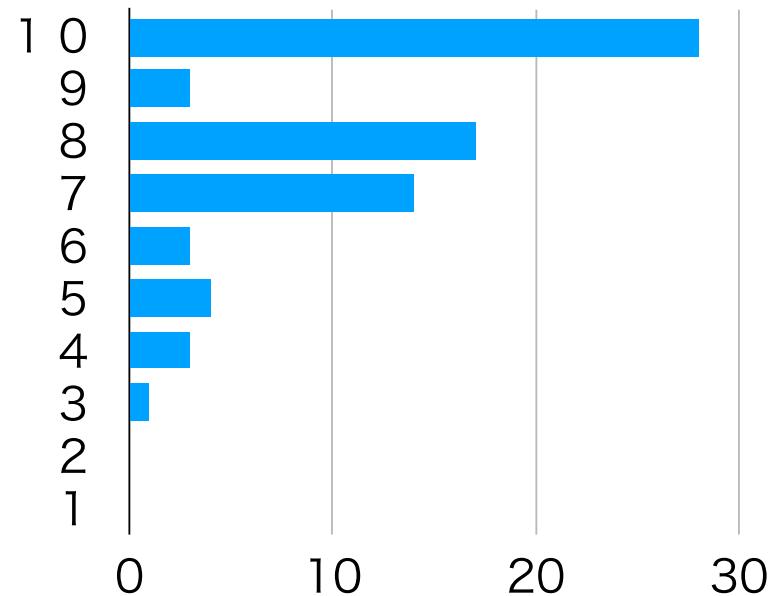


事後アンケート (N=73)

保健所機能知っていた？

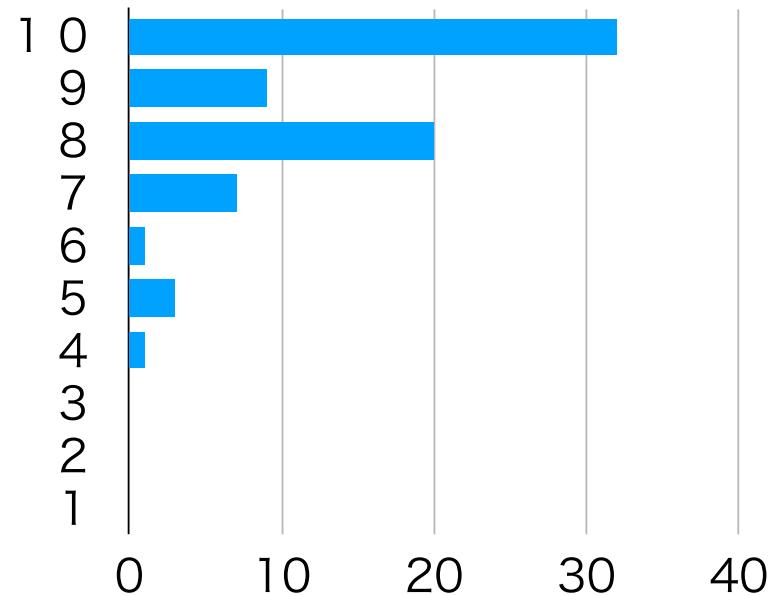


保健所を活用したい？



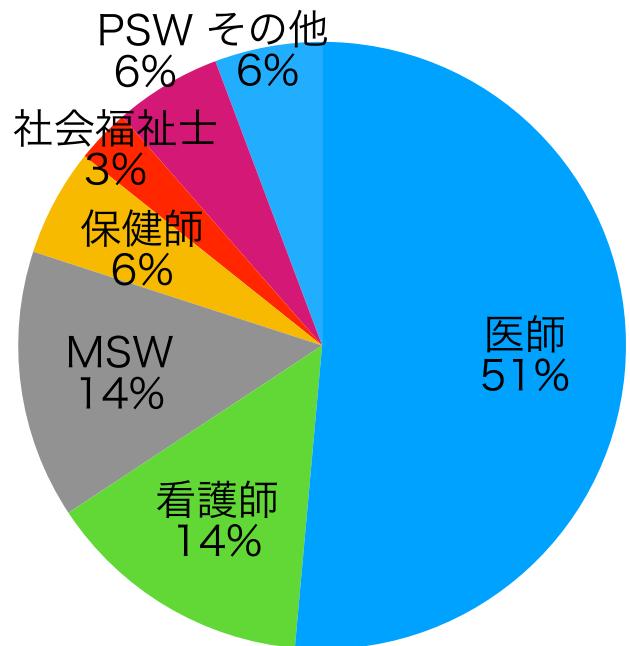
事後アンケート (N=73)

断酒会役に立つ？

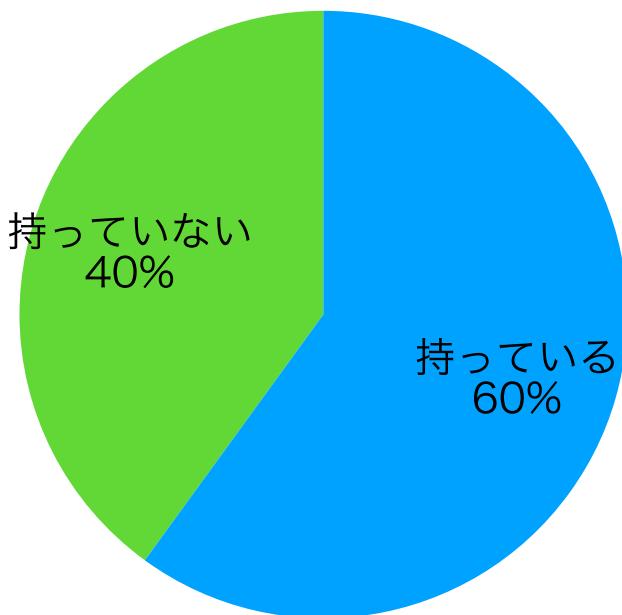


1ヶ月後・追加アンケート (N=35)

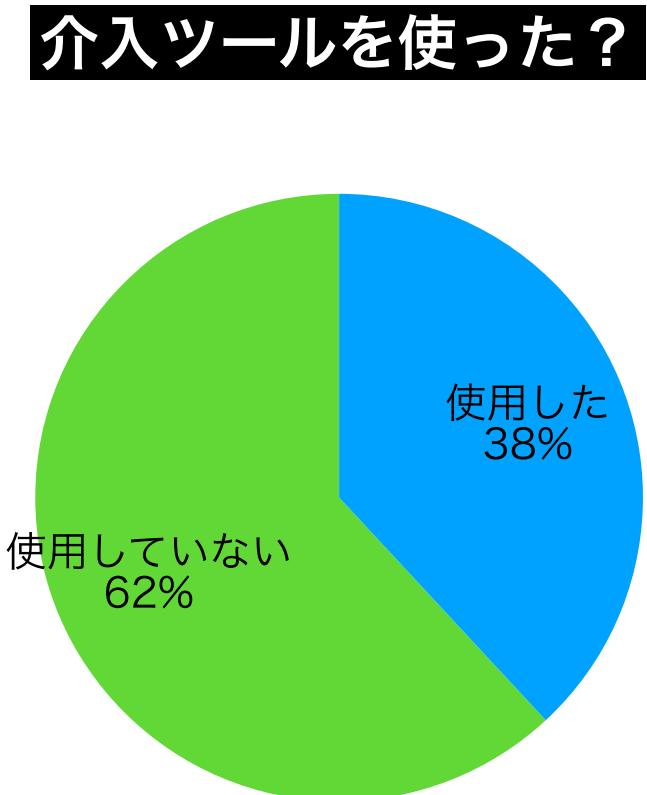
職種



介入ツール持っている？



1ヶ月後・追加アンケート/介入ツール持っている (N=21)



使用した結果

- ・患者が断酒した 0人
- ・患者が減酒した 3人
- ・患者が専門病院につながった 0人
- ・患者が保健所に相談 1人
- ・患者が断酒会に行った 1人
- ・動機づけ・意識づけに役立った 4人

使用しなかった理由

- ・対象者がいなかった 12人
- ・使い方がわからなかった 1人
- ・今後の検討中 1人

保健所へのアルコール相談件数

	2022		2023	
	総数	内一般医療機関から	総数	内一般医療機関から
和泉保健所	40	0	30	0
岸和田保健所	35	0	29	0
泉佐野保健所	18	1	16	0

支援員の活動

- ・ 60代女性・本人 保健所で面接 自助グループ同行の説明
- ・ 70代男性・本人 警察署で面接 専門病院入院
- ・ 60代女性・本人 保健所で面接 専門病院入院 断酒会入会
- ・ 80代女性・家族 保健所で面接 断酒会の説明など

介入ツールの追加発送希望

計32機関 合計 632冊配布

- ・ 医療機関 18機関 (病院6 診療所12)
- ・ 行政機関 地域包括支援センター 訪問看護ステーション その他

今後の予定

- ・ 介入ツール追加発送先での活用状況の調査 (アンケート)

- ・ 保健所職員同伴での訪問ヒアリングを予定

クリニック7箇所 病院1カ所 保健センター1カ所